

令和4年度 兵庫県理学療法士会

第1回 研修部実技講習会のお知らせ（感染対策委員会監修）

テーマ	呼吸リハビリテーションの評価と基本手技
講師	千住 秀明 先生 (びわこリハビリテーション専門職大学 教授)
日時	令和4年7月10日(日) 10時00分~17時00分
申込み	申込期限：6月13日(月) 21時 募集定員 20名 (定員が超過した場合には抽選)
参加費	6000円(感染対策備品含む N95マスク・フェイスシールド)
会場	神戸総合医療専門学校 (駐車場利用可)
内容	<p>呼吸理学療法の基本手技であるコンディショニングは、運動療法を遂行するために重要である。特に重度、最重度のCOPD患者にはコンディショニングを行わず運動療法はできない。</p> <p>COPD患者の日常生活の制限因子は動作時の息切れである。その息切れが「できるADLを」、「できないADLへ」と患者を追いつめる。</p> <p>人は誰でも、家族や隣人と意識することなく過ごしている。しかし、COVID19の感染拡大で、他者との交流が絶たれ、人と人が交流することがいかに大切であったか、今、思い知らされている。</p> <p>慢性呼吸疾患の患者さんたちは、COVID19感染拡大の前から、このような生活が続いている。呼吸リハビリテーションサービが受けられないため「できるADLができないADLになっている」からである。COVID19は、外来呼吸リハ中止、呼吸リハ目的の入院中断などで、患者さんはますます呼吸リハから遠ざかり、活動量の低下を余儀なくされ、機能低下が急速に進んでいる。</p> <p>今、患者さんには身近な病院や介護施設、デイケア、訪問理学リハサービスなど呼吸リハを受けられる環境整備が早急に必要である。</p> <p>呼吸リハビリテーションのコンディショニングは、医療関係職種であれば誰でも習得できる手技であるが、見るだけでは修得することができない手技でもある。手から手へ、患者さんからの思いを皆さんに伝えます。</p> <p>少人数(限定20名)で、患者さんの思いを皆さんが僕の手から感じ取って欲しいと思います。</p> <p>今回は身体所見とコンディショニングを重点にした講習会にしたいと思いません。</p>



※ **兵庫県理学療法士会会員**が対象となります。

※ お申込み終了後、募集定員が超過した場合には抽選にて受講決定の可否をご連絡いたします。

※ 感染状況に応じて開催が中止となる場合がございますがご了承ください。

※今年度より新生涯学習制度が開始となります。本研修会は、以下に該当します。

① **登録理学療法士保有者**は

登録理学療法士の更新 6ポイント（カリキュラムコード「100 呼吸理学療法」）

② **認定・専門理学療法士保有者**は登録理学療法士の更新 6ポイント（カリキュラムコード「100 呼吸理学療法」）もしくは認定・専門理学療法士の更新 6点

各会員の取得状況は日本理学療法士協会のマイページやJPTA アプリよりご確認ください。

実技講習会開催指針（兵庫県理学療法士会感染対策委員会）

当日までの対応案（参加者・講師・スタッフ）

- ① 1週間前からの健康観察実施
- ② ワクチン接種が3回済みであり、尚且つ3回目の接種から2週間以上経過していること
- ③ 参加者が濃厚接触者ではなく、また家族・職場等に濃厚接触者がいないこと
- ④ 職場・家族に陽性者が出た場合には要連絡
- ⑤ 参加にあたり、所属施設の了解が得られていること

当日の対応

- ① 会場スペースの確保（キャパの1/2以下の人員）
- ② 換気の徹底（2点以上の換気）
- ③ 検温・アルコール消毒
- ④ N95 マスクを着用（代金は受講費に含む）
- ⑤ フェイスシールド着用（代金は受講費に含む）
- ⑥ 実技ベッドの間隔を十分にとり、ペアを変えない
→可能であれば2m 離れるくらいゆったりとスペースを使用
- ⑦ 孤食・黙食（昼食有の場合）
- ⑧ 講習会から48時間以内の体調不良を報告の実施
- ⑨ 講習会後陽性者が出た場合の参加者への緊急連絡先の取得（すぐに連絡が取れるように）

【講習会中止基準】

蔓延防止以上の措置が発令された場合

QRコードより申し込み



<お問い合わせ先>

研修部 hyogoptkenshubu@gmail.com

申し込みURL

<https://forms.gle/o3mrMmHSvL9i2KY37>